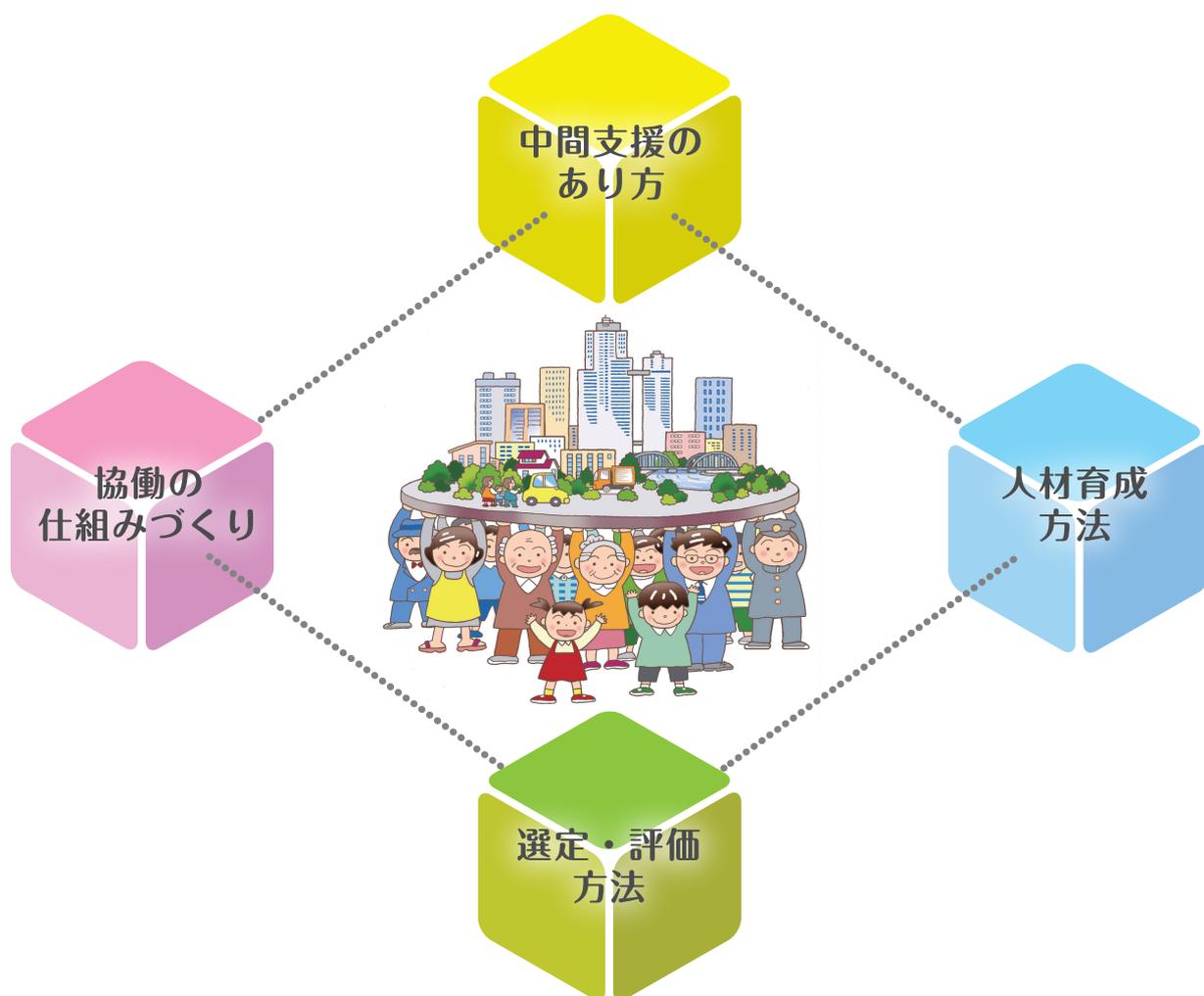


# 中央区協働推進会議報告書

## 概要版



# 1.中央区の協働推進における現状と課題

## 現状

急激な人口増加による  
多様なニーズ・価値観の広がり

新旧住民の接点の不足  
近隣関係の希薄化

町会役員の高齢化など  
地域活動の担い手の不足

- 町会による共助の役割が低下しつつあります。
- きめ細やかな区民サービスに向けては、行政だけの対応には限界があります。
- 地域課題解決に向けた住民参加機運が高まっています。

協働を進めるための基本方針「地域との協働指針」の策定(平成18年3月)

区民自身が公共的なサービスの担い手となる協働の取組により、よりきめ細やかな行政サービスの提供が求められていますが、実態として協働がなかなか進んでいません。

## 課題

※  
区や社会貢献活動団体間の  
総合的なコーディネート機能や  
協働を相互に検討する場がない

区が社会貢献活動団体との  
協働を進める上での  
仕組みや評価方法が  
決まっていない

協働の担い手や  
区民ボランティアなどの  
人材の体系的な  
育成システムがない

※社会貢献活動団体とは、町会・自治会、NPO法人、ボランティア団体、公益活動を実践する企業等を言う

課題を4つの領域に分けて検討

- 1 区と市民活動をつなげる中間支援のあり方
- 2 協働を具体的に進めるための仕組みづくり
- 3 協働事業の評価方法
- 4 協働を支える人材の育成方法

## 効果

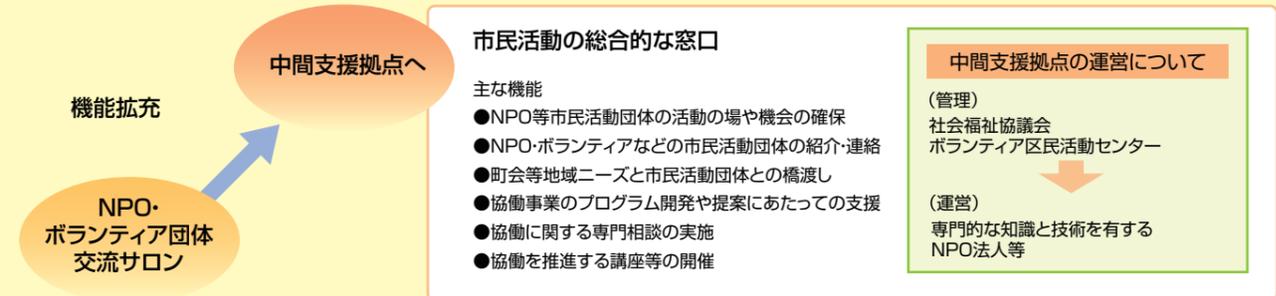
町会・自治会、NPO法人、ボランティア団体、公益活動を実践する企業と区が力を合わせて公共的な課題解決へ取り組むことにより、よりきめ細やかな行政サービスの提供が可能になります。



# 2.協働の推進に向けた4つの提案

## (1) 中間支援のあり方

●基本的な考え方／区と社会貢献活動団体をつなぐ「中間支援拠点」を整備し、協働の普及促進を図ります。



## (2) 協働の仕組みづくり

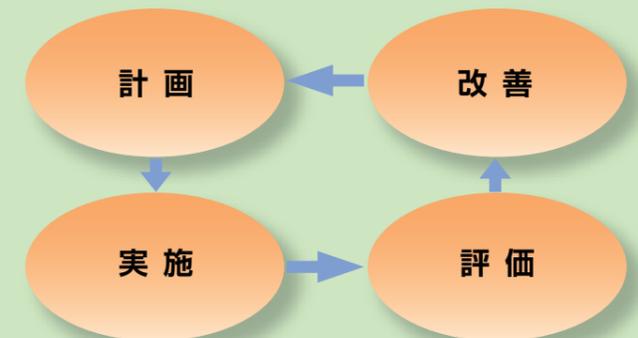
●基本的な考え方／協働事業の提案を受け入れる体制を整備します。募集形態は、自由提案と課題設定を併用し、中間支援拠点や第三者審査機関を有効に活用します。



## (3) 選定・評価方法

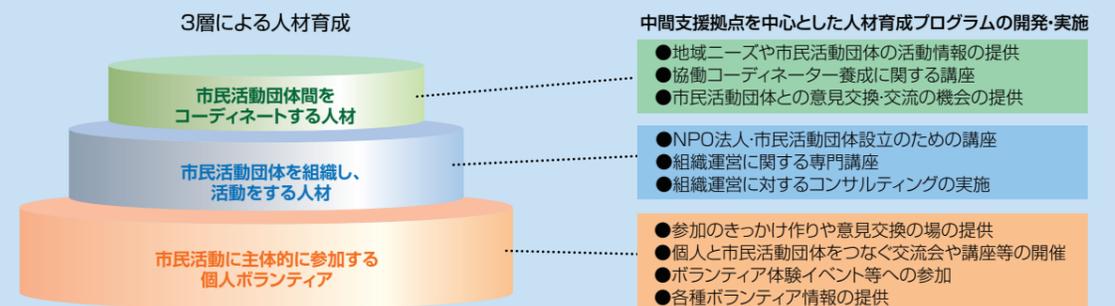
●基本的な考え方／公正な評価を行うため、協働事業選定基準や協働事業評価基準を作成し、計画-実施-評価-改善のマネジメント・サイクルのもとで、新たな事業実施に向けて有効に機能する評価を行います。

■第三者審査機関の設置  
協働事業の選定や、実施後の評価を行います。

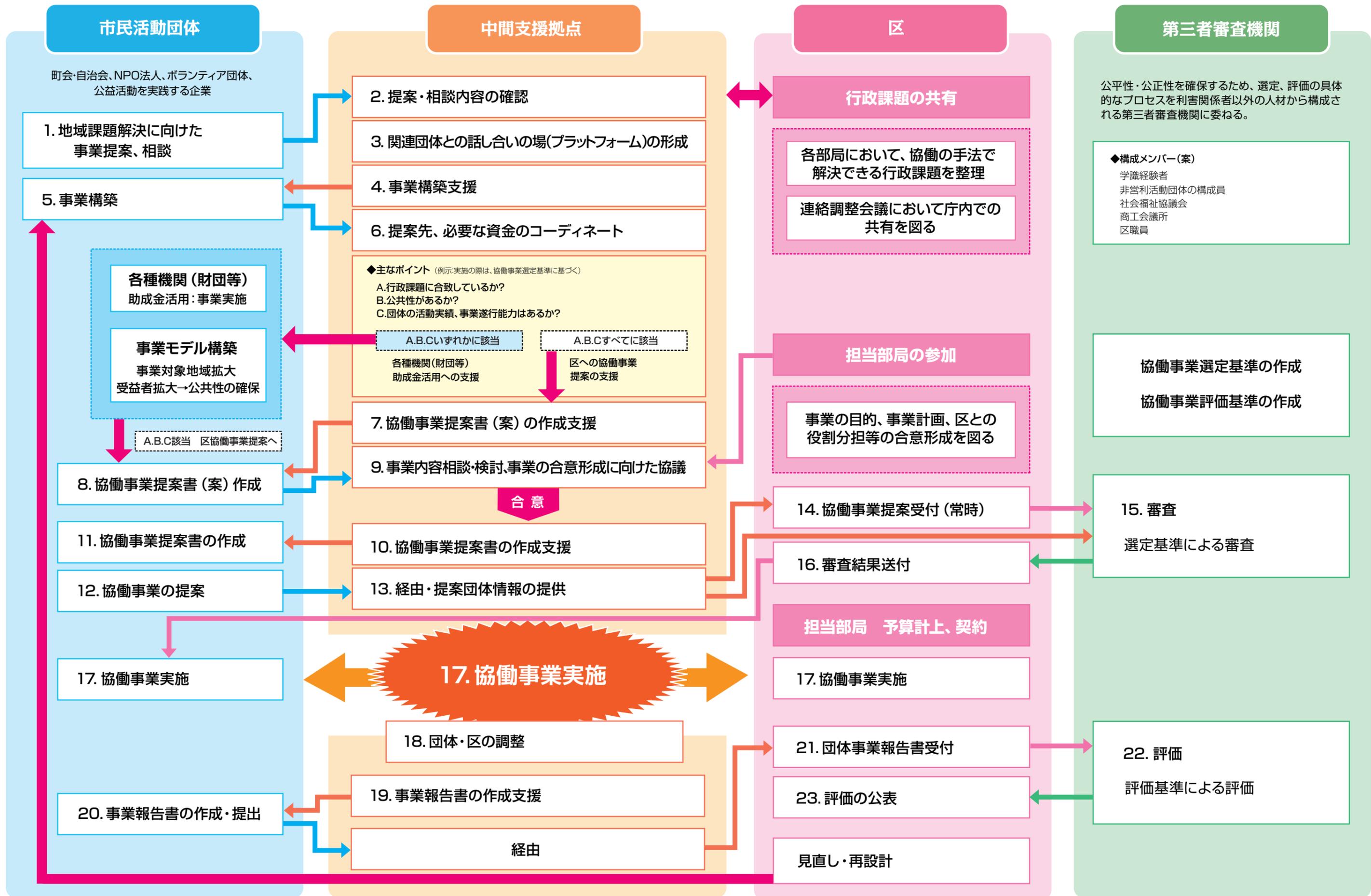


## (4) 協働のための人材育成方法

●基本的な考え方／積極的・主体的に地域の課題に取り組んでいく人材の育成を行います。



# 協働のイメージ (中間支援拠点を中心とした23の行程)



## 中央区協働推進会議報告書の提出にあたって

このたび、中央区協働推進会議は、平成18年3月に策定された「中央区地域との協働指針」に基づいて、中央区の区民と行政の協働を推進するための今後のあり方を、最終報告書としてまとめ提出いたします。

中央区は、歴史と伝統に支えられ、同時に未来への大きな発展の要素を持ち合わせた豊かな魅力にあふれた区です。人口も年々増加し、新しいまちづくりの可能性が日々芽吹いているところです。その一方で、これまでの地域活動や伝統行事、文化的伝承の実際は、担い手の高齢化や新しい考え方との遭遇など変化する様相が顕著です。また、国際的、国内的にも、公共性に立脚した行政サービスの質的向上の重要性が謳われるとともに、まちづくりや子育て、福祉、環境、文化などの側面で住民参加や市民主体の活動の活性化が求められています。

本会議では、新しい形の公共のあり方として近年重要視されている市民活動と行政の協働のあり方を、この都心区として伝統と変革の双方の魅力にあふれた中央区の中で「中央区らしさ」を生かして追求していくためにはどのような「協働のすがた」が望ましいか、そしてそれを具体的に実現していくためにはどのような方法と内容を満たすべきであるかについて議論してきました。その詳細と私たちの願いは、報告書の中に込められていますが、その要点は区民と行政、そしてそれを支える町会・自治会などの地域団体、多くのボランティアやNPO(非営利団体)、市民活動団体、そして企業が、対等な立場で中央区の中の暮らしや文化を軸にして共に手を取り合い協力して豊かな地域を築くために語り合い、行動するという点に尽きます。その営みに関わる人々の中央区に寄せる思いが熱ければ熱いほど、その活力が中央区の「協働」を前進させていくことでしょう。

本報告書で示した4つの提案はそれぞれが「協働」という豊かな果実を実現するための種に過ぎません。それを本当の意味での実りあるものにするためには、すべての関係者がその種が根付く土壌を耕し、水をやることを怠ってはなりません。

この報告書に示された種子を区民の皆様の力で育てて、豊かな収穫へと結びつけて下さるようお願い申し上げます。

最後に本報告をまとめるにあたってご尽力いただいた方々に心からお礼申し上げます。

平成21(2009)年10月

中央区協働推進会議会長 瀧澤 利行

## 中央区協働推進会議

### 設置目的

協働の具体的な方策を検討することにより、地域との協働及び中央区における社会貢献活動のより一層の推進を図り、快適で活力に満ちた「都心型協働社会」の実現に寄与することを目的に設置されました。

### 委員名簿

	氏名	役職
会長	瀧澤 利行	茨城大学教育学部教授
副会長	山岸 秀雄	NPOサポートセンター理事長 法政大学法学部教授
委員	山井 理恵	明星大学人文学部教授
委員	古澤 悦子	築地七丁目町会婦人部長
委員	安 鳩 潔	東京商工会議所中央支部事務局長
委員	豊田 正文	中央区社会福祉協議会事務局長
委員	小泉 典久	中央区企画部長
委員	斉藤 進	中央区区民部長(平成19(2007)年11月～20(2008)年3月)
委員	小池 正男	中央区区民部長(平成20(2008)年4月～)

お問合せ

中央区区民部地域振興課協働推進主査

東京都中央区築地1-1-1 電話 03(3546)5686

ホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.chuo.lg.jp/>